

---

**フォント・ロゴ作成ツール説明書**

---

# 目 次

1. フォント・ロゴ作成ツールとは.....	1
2. フォント作成手順.....	4
3. ロゴ作成手順.....	10
4. フォント・ロゴメンテナンス機能.....	14
5. インタフェース設定.....	16
5. 1. USB インタフェースの設定.....	16
5. 2. LAN インタフェースの設定.....	17
5. 3. RS-232C インタフェースの設定.....	18
5. 4. IEEE1284 インタフェースの設定.....	19

# フォント・ロゴ作成ツール

## 1. フォント・ロゴ作成ツールとは

お客様が、お使いになるパソコンで使用されている TrueType フォントのデータをビットマップフォントデータに変換する機能と BMP ファイルをプリンタで使用できるロゴデータに変換してプリンタ登録用のロゴデータを作成するツールです。

作成されたデータは、ダウンロード機能を使用してプリンタ本体に登録し、プリンタ内蔵フォントとして使用します。

### 効果

グラフィックで印字されていた文字データ・ロゴデータをプリンタに登録することで、通信データ量の削減ができ、処理速度向上につながります。

### フォントを作成しプリンタへダウンロードするまでの手順

①フォント・ロゴ作成ツールを起動します。

CD-ROM のフォント・ロゴ作成ツールを起動

②TrueType フォントを選択します。

TT フォントを選択

③プリンタに登録するフォント名を入力します。

登録名を入力

④フォントサイズ、縦書き指定、斜体などの属性情報を入力します。

フォントサイズを入力

強調指定

縦書きフォント指定

斜体指定

⑤変換を行う文字コードを入力します。

コード範囲の初期値は、32～255 までのキャラクタコードになります。

開始コードを入力

終了コードを入力

漢字の場合は、テキストファイル読込又は、直接データ入力（登録文字入力）により、作成する漢字データを任意に指定できます。

⑥プリンタを選択します。

プリンタによって 1dot の長さが違います。

例) SG408R (203dpi) →0.125mm/1dot

SG412R (305dpi) →0.083mm/1dot

SG424R (609dpi) →0.041mm/1dot

プリンタを選択

保存

ダウンロード

終了

ファイルに保存します。

作成したデータをプリンタに登録します。

# フォント・ロゴ作成ツール

## 登録文字数

プリンタには、832 キロバイト (851,968 バイト) のデータ登録エリアがあります。  
データ登録エリアには、フォントデータ、ロゴデータが登録できます。  
プリンタに登録されているデータの確認は、  
「その他(O)」メニューにある「フォント・ロゴメンテナンス(M)」で情報取得できます。

## フォントデータ計算方法

SG412R(305dpi 0.083mm/dot) 指定で、ゴシック 10 ポイント 1 文字分の総データサイズは、262 バイトになります。

10 文字登録する場合は 262 バイト×10 文字 = 2620 バイトの登録エリアが必要になります。

## 計算

1 インチの 72 分の 1 が、1 ポイント (0.3514mm) です。

10 ポイントの指定による、印字文字サイズの一辺は、10 (ポイント) × 0.3514 (mm) = 3.514mm になります。

305dpi (12 本/mm) 対応に演算します。

3.514mm ÷ 0.083mm = 42.3 となり少数点以下を切り捨て 42dot になります。

印字する文字の一辺の長さは、42dot になり、ポイントに換算すると 9.92 ポイント になります。

1 文字分の総データサイズは、

横 42dot ÷ 8 = 5.25 ⇒ 横 6 バイト

縦 42dot

総バイト数 6 × 42 = 252 バイト になり、管理情報 10 バイトを加算した結果、262 バイト が一文字の総データ数になります。

# フォント・ロゴ作成ツール

## ロゴを作成しプリンタへダウンロードするまでの手順

①フォント・ロゴ作成ツールを起動します。

CD-ROM のフォント・ロゴ作成ツールを起動

②BMP ファイルを選択します。

読込を選択します

③プリンタに登録するロゴ名称を入力します。

ロゴ名称を入力します

保存

ファイルに保存します。

ダウンロード

作成したロゴデータをプリンタに登録します。

終了

## 作成済みロゴファイルをプリンタへダウンロードするには、

ロゴファイルとして、既に作成されているデータファイル（拡張子 DLF）を、プリンタへダウンロードするときは、「読込」を選択し、「ダウンロード」を選択してください。

## 登録できるロゴ数

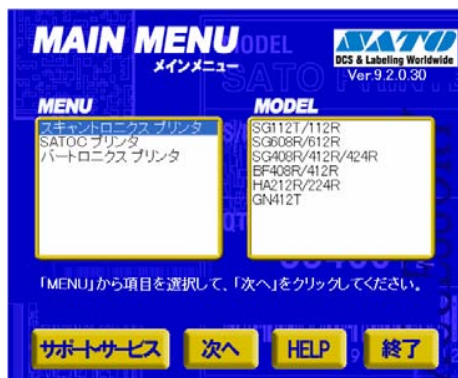
プリンタは、832 キロバイト（851,968 バイト）のデータ登録エリアがあります。データ登録エリアには、フォントデータ、ロゴデータが登録できます。

プリンタに登録されているデータの確認は、「その他(0)」メニューにある「フォント・ロゴメンテナンス(M)」で情報取得することができます。

# フォント・ロゴ作成ツール

## 2. フォント作成手順

- ① 図 2-1 メインメニュー画面の「スキャントロニクス プリンタ」を選択後、「次へ」をクリックしてください。



※Versionの表示が9.2.0.30  
となっておりますが、実際  
に表示した際は対応した  
Versionが表示されます。

図 2-1 メインメニュー画面

- ② 図 2-2 スキャントロニクスプリンタ画面の「ユーティリティ」をクリックしてください。



図 2-2 スキャントロニクス画面

- ③ 図 2-3 ユーティリティ画面の「フォント・ロゴ作成ツール」を選択後、「起動」をクリックしてください。



図 2-3 ユーティリティ画面

# フォント・ロゴ作成ツール

- ④ 図 2-4 フォント・ロゴ作成ツール起動画面が表示されます。

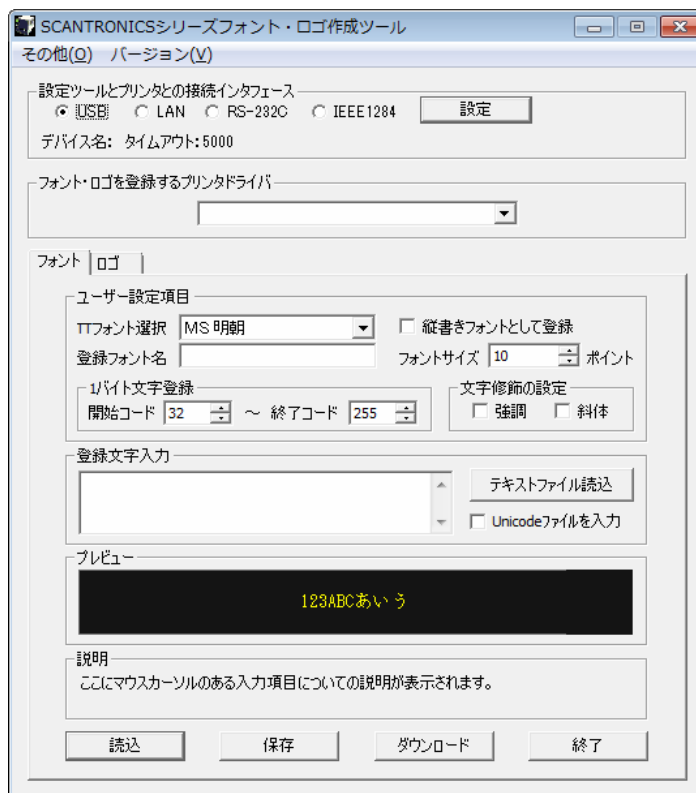


図 2-4 フォント・ロゴ作成ツール起動画面

- ⑤ 図 2-5 「ユーザー設定項目」の「TT フォント選択」からフォントを選択してください。選択されたフォントデータをプレビューで確認することができます。

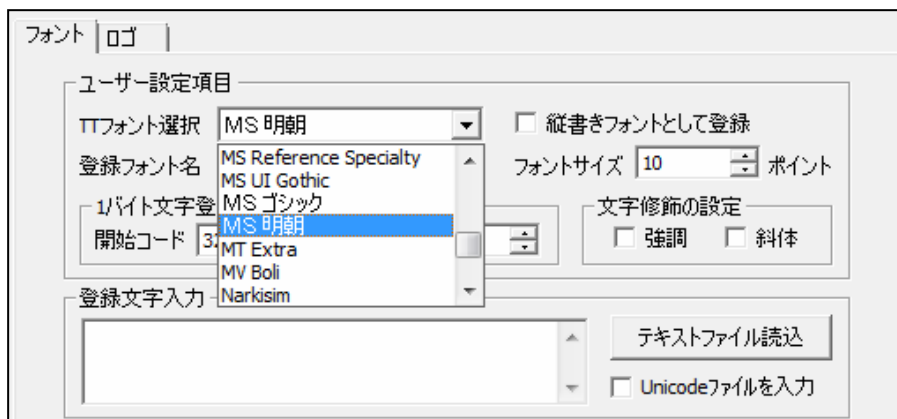


図 2-5 TT フォント選択





# フォント・ロゴ作成ツール

⑫ 「TT フォント選択」で漢字書体データを選択すると「登録文字入力」が有効となります。

⑫-A. 漢字データを入力指定することができます。

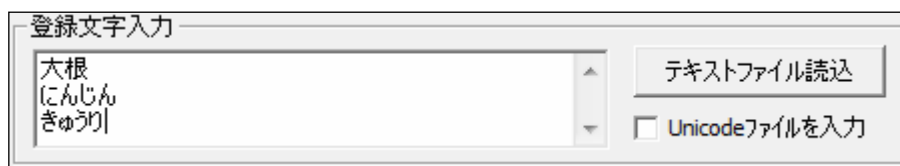


図 2-12-A 漢字データ入力

⑫-B-1. 「テキストファイル読込」をクリックすることで、テキストファイルを指定できます。

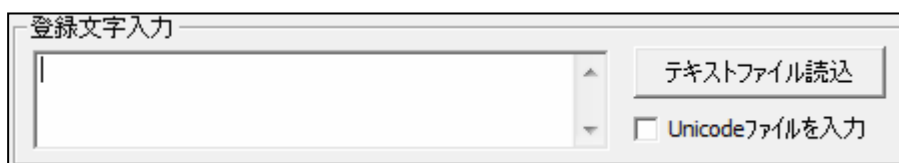


図 2-12-B-1 テキストファイル読込画面

⑫-B-2. テキストファイルを指定し、「開く」をクリックします。

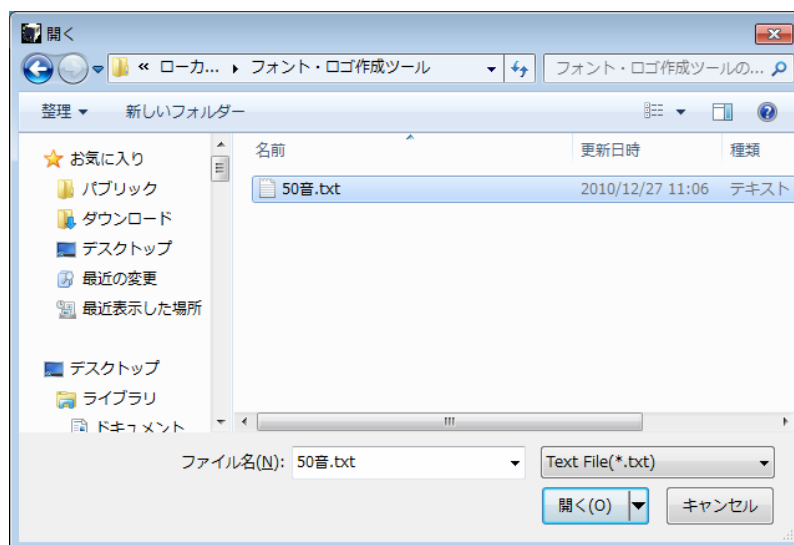


図 2-12-B-2 テキストファイル選択画面

⑫-B-3. テキストファイルのデータが表示されます。

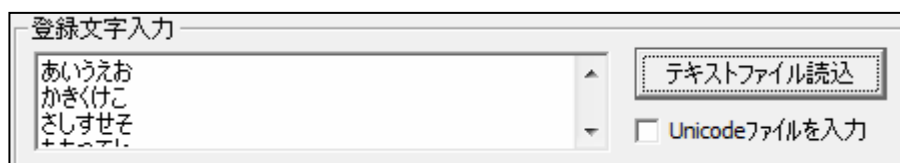


図 2-12-B-3 テキストファイルデータ表示画面

※1 バイトコード範囲のデータと登録文字入力に表示されたデータが変換対象データになります。  
※⑤～⑫の設定条件をもとに選択された TT フォントをプリンタ用ビットマップフォントデータに変換します。

## フォント・ロゴ作成ツール

- ⑬ 図 2-13 「フォントデータ保存画面」が表示されます。「保存(S)」をクリックするとファイルに保存します。ファイル拡張子は、xxx~xx.dffになります。

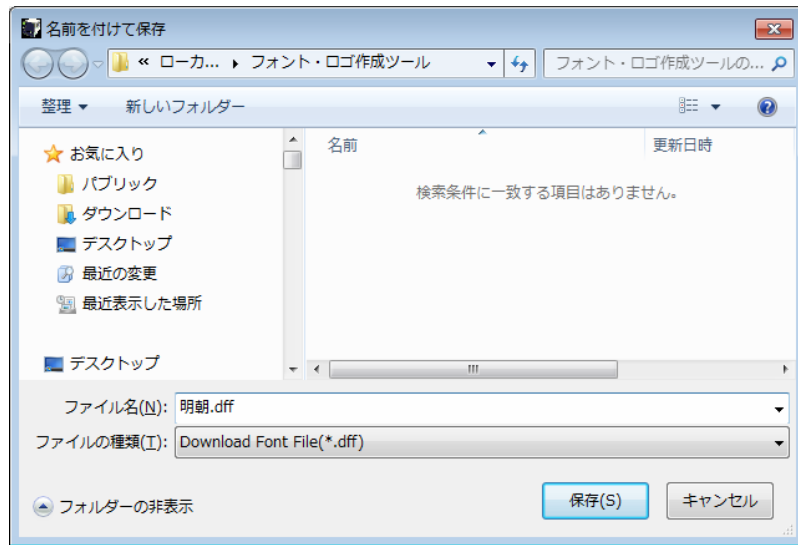


図 2-13 フォントデータ保存画面

- ⑭ 「読込」をクリックすると図 2-14 フォントデータ読込画面が表示されます。保存したファイル指定し、「開く(O)」をクリックすると読込むことができます。ファイルの拡張子は、xxx~xx.dffになります。

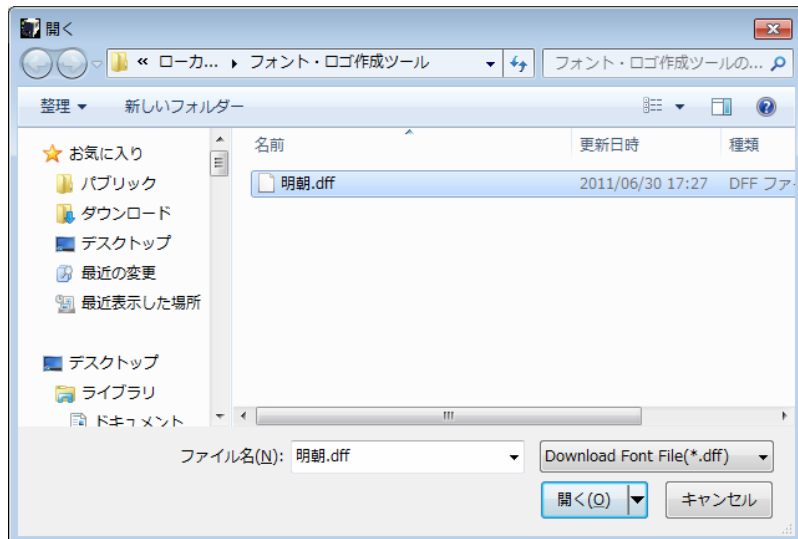


図 2-14 フォントデータ読込み画面

## フォント・ロゴ作成ツール

- ⑮ 「ダウンロード」をクリックすると図 2-15 ダウンロードモード起動確認メッセージが表示されます。
- メッセージに従い、プリンタ本体の電源を OFF にします。方向キーの下を押しながら、再度電源を ON にするとプリンタはダウンロードモードで起動します。

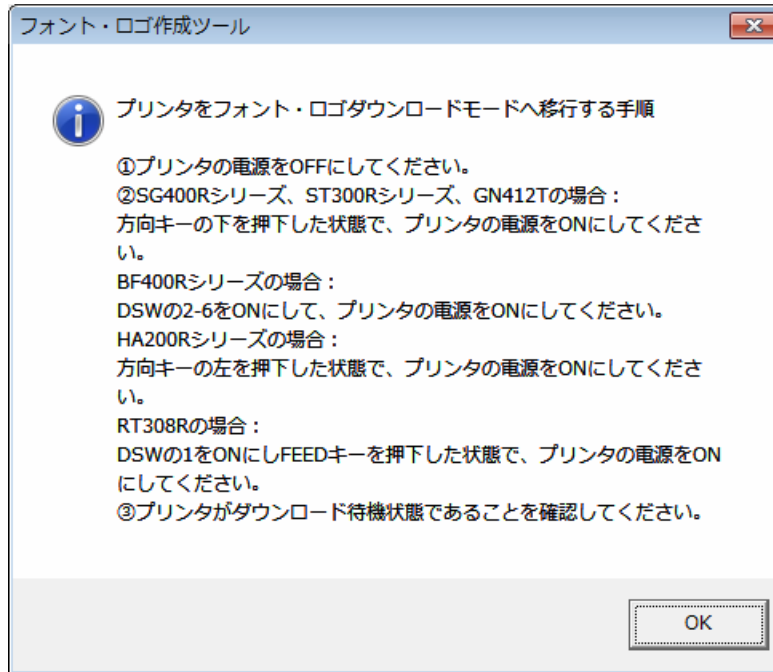


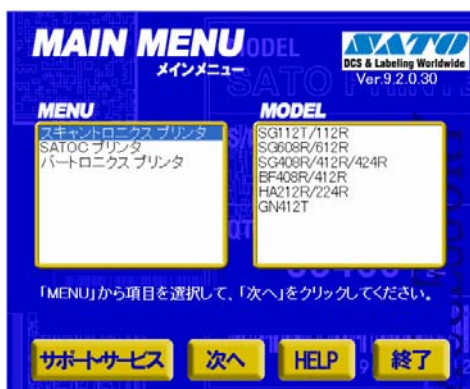
図 2-15 ダウンロードモード起動確認メッセージ画面

- ⑯ ダウンロード終了後、図 2-4 フォント・ロゴ作成ツール起動画面に戻ります。

# フォント・ロゴ作成ツール

## 3. ロゴ作成手順

- ① 図 3-1 メインメニュー画面の「スキャントロニクス プリンタ」を選択後、「次へ」をクリックしてください。



※Versionの表示が9.2.0.30  
となっておりますが、実際  
に表示した際は対応した  
Versionが表示されます。

図 3-1 メインメニュー画面

- ② 図 3-2 スキャントロニクスプリンタ画面の「ユーティリティ」をクリックしてください。



図 3-2 スキャントロニクス画面

- ③ 図 3-3 ユーティリティ画面の「フォント・ロゴ作成ツール」を選択後、「起動」をクリックしてください。



図 3-3 ユーティリティ画面

# フォント・ロゴ作成ツール

- ④ 図 3-4 フォント・ロゴ作成ツール起動画面が表示されます。

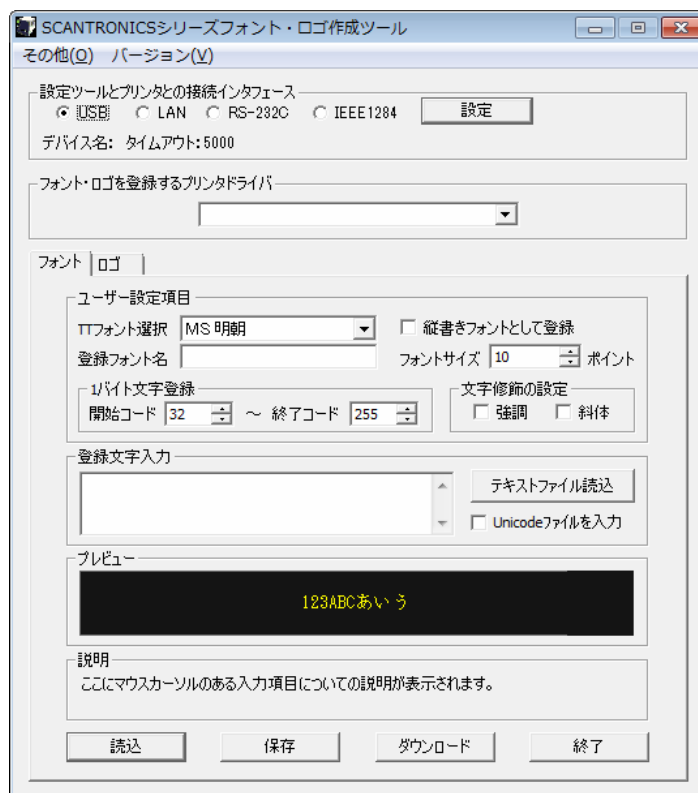


図 3-4 フォント・ロゴ作成ツール起動画面

- ⑤ タブをロゴに切り替えると、ロゴ作成ツール画面が表示されます。

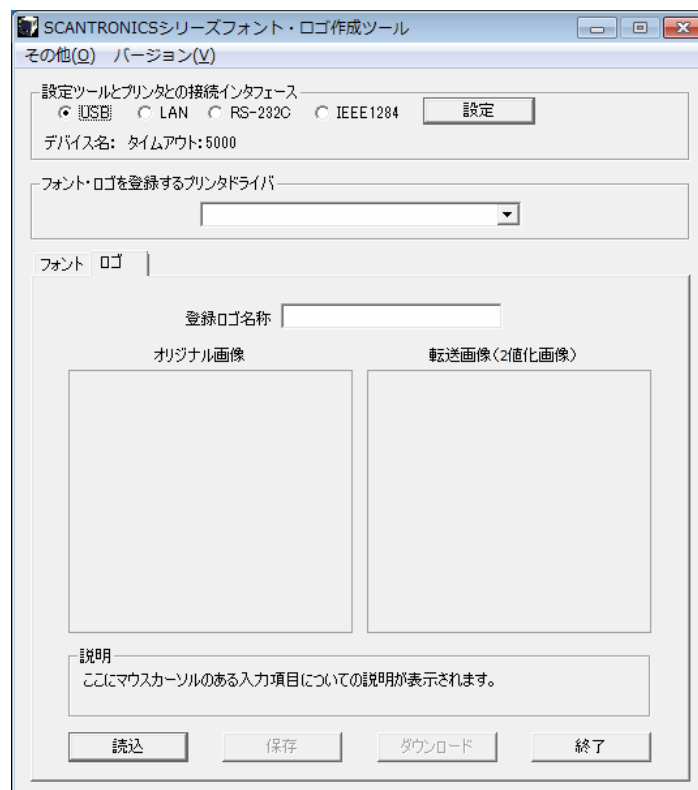


図 3-5 ロゴ作成ツール画面

# フォント・ロゴ作成ツール

- ⑥ 登録するロゴ名称を入力してください。

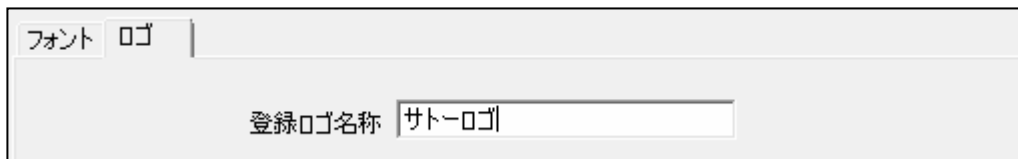


図 3-6 ロゴ名称登録画面

- ⑦ 「読み」をクリックすると、図 3-7-1 画像ファイル指定画面が表示されます。BMP ファイルを選択し、「開く(O)」をクリックします。

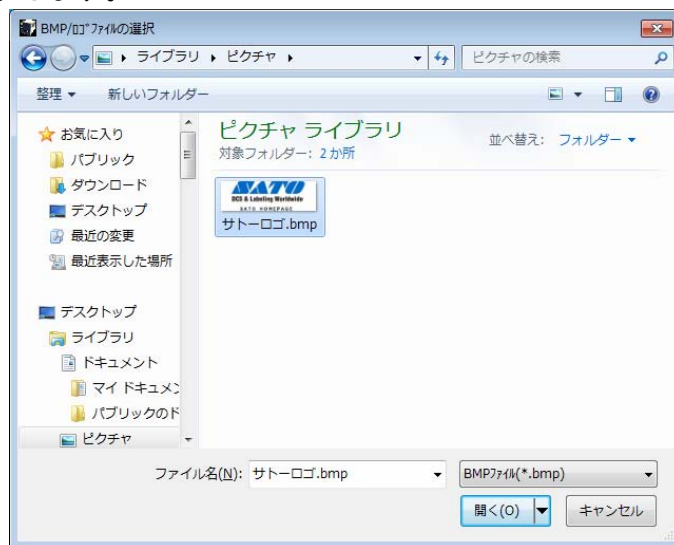


図 3-7-1 画像ファイル指定画面



図 3-7-2 画像ファイル読み込み後画面

## フォント・ロゴ作成ツール

- ⑧ 「保存(S)」をクリックすると図 3-8 画像データ保存画面が表示されます。ファイル名を指定して「保存(S)」をクリックするとファイルに保存します。ファイル拡張子は、xxx~xx.dlf になります。

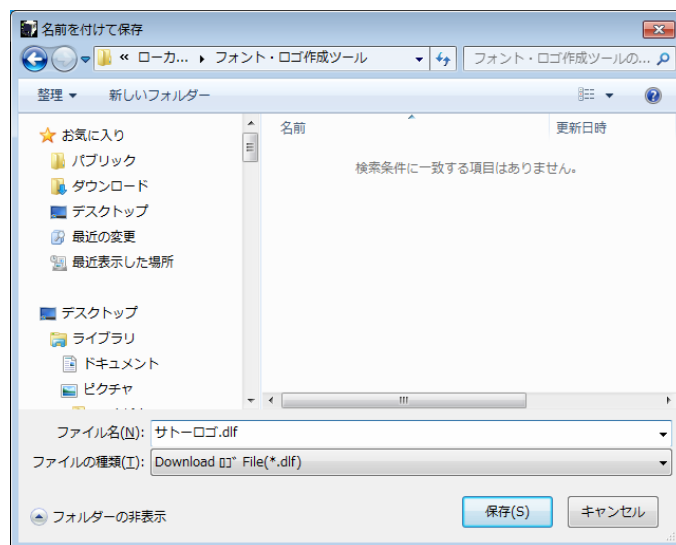


図 3-8 画像データ保存画面

- ⑨ 「ダウンロード」をクリックすると図 3-9 ダウンロードモード起動確認メッセージが表示されます。メッセージに従い、プリンタをダウンロードモードで起動させます。

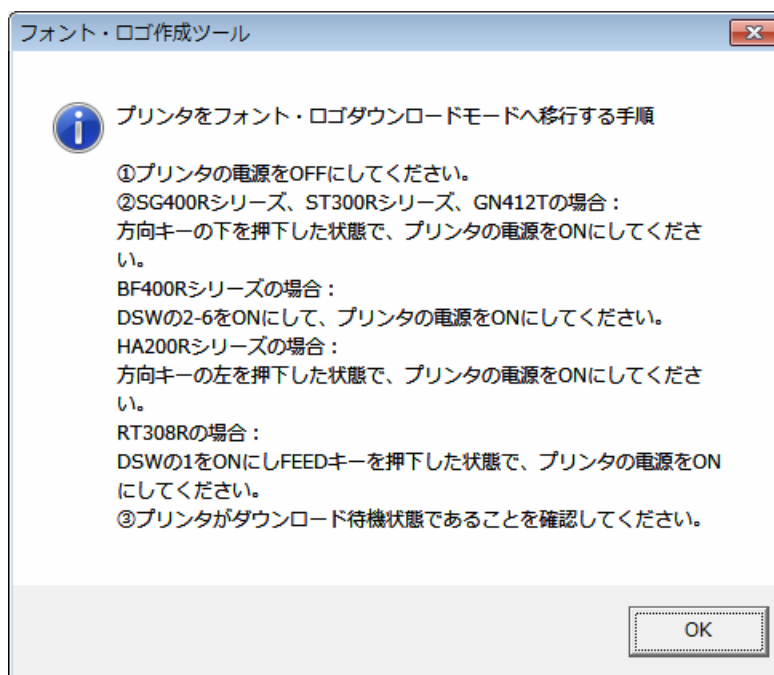


図 3-9 ダウンロードモード起動確認メッセージ

- ⑩ ダウンロード終了後、図 3-5 ロゴ作成ツール画面に戻ります。

# フォント・ロゴ作成ツール

## 4. フォント・ロゴメンテナンス機能

メンテナンス機能ですでにプリンタに登録されているフォントデータ／ロゴデータ情報を確認することができます。また、登録データの削除も可能です。

- ① 「その他 (O)」の「フォント・ロゴメンテナンス (M)」を選択してください。

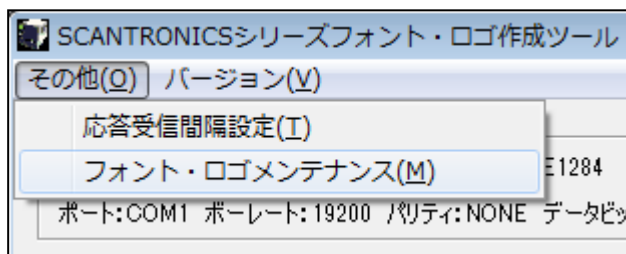


図 4-1 メンテナンス選択画面

- ② 図 4-2 メンテナンス画面が表示されます。「情報取得」をクリックしてください。図 4-3 メンテナンス画面を表示します。

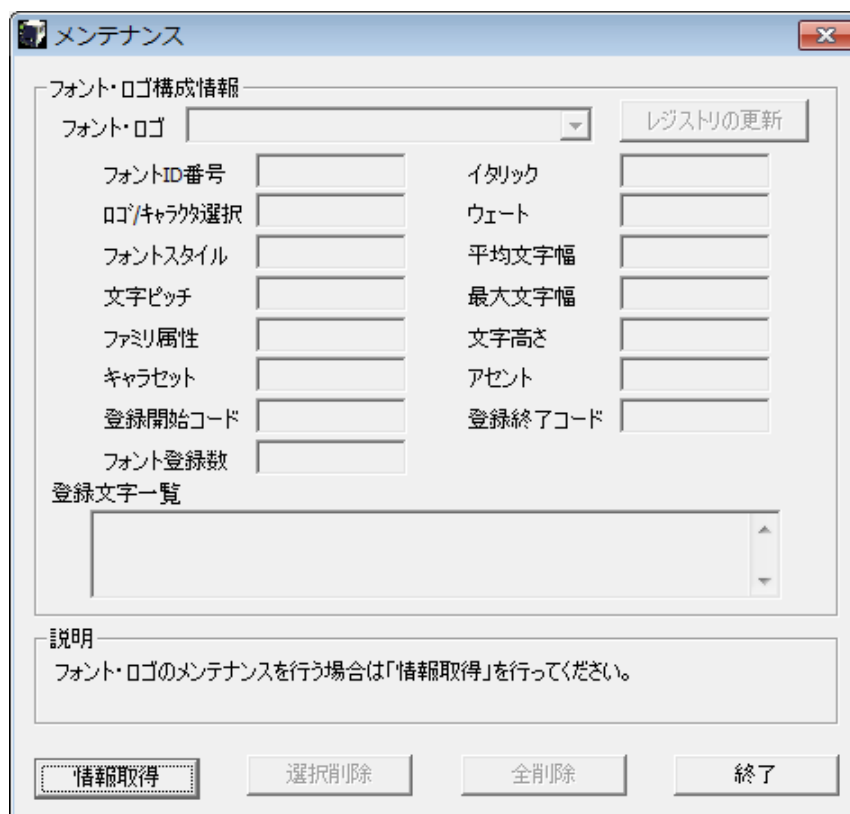


図 4-2 メンテナンス画面



## フォント・ロゴ作成ツール

③プリンタからダウンロード情報を取得し表示します。

- ・「フォント・ロゴ」のコンボボックスで設定を切り替えることができます。
- ・「フォント・ロゴ構成情報」の「ロゴ/キャラクタ選択」項目で、フォント情報の場合は「キャラクタ」、ロゴ情報の場合は「ロゴ」と表示されます。

(1)「選択削除」

現在表示している内容のフォントデータ、またはロゴデータを削除します。

(2)「全削除」

ダウンロードされている全てのフォントデータおよび、ロゴデータを全て削除します。

(3)「レジストリの更新」

プリンタから取得したフォント、ロゴ情報を使ってプリンタドライバのレジストリ情報を更新します。プリンタに登録されているフォント・ロゴ情報とプリンタドライバ側で認識しているフォント・ロゴ情報が異なるときに、この操作を行うと情報が統一されます。

注) ダウンロード、削除をおこなったコンピュータと違うコンピュータで、印字をおこなう場合は、必ず「レジストリの更新」おこなってください。

※ダウンロードフォント情報の取得に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

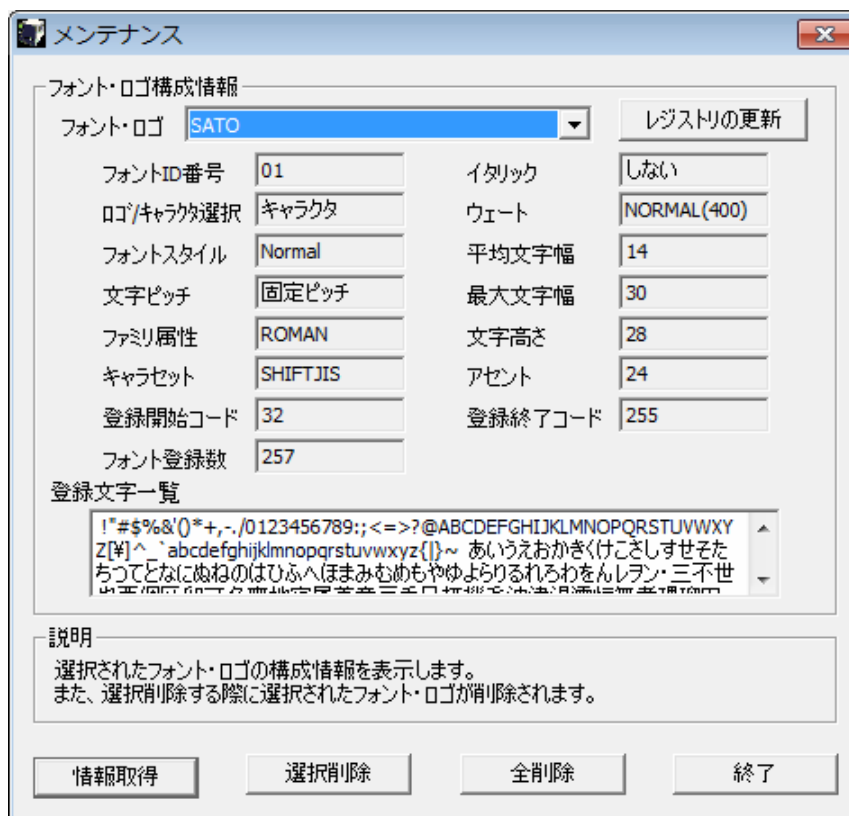


図 4-3 メンテナンス画面

## 5. インタフェース設定

### 5.1. USB インタフェースの設定

USB インタフェースでフォント・ロゴ作成ツールを使用する場合に設定します。

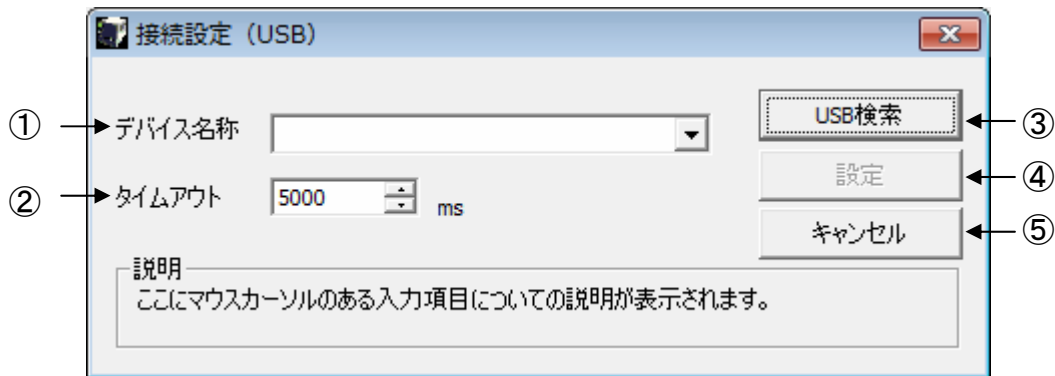


図 5-1 USB インタフェース設定

項番	項目	内容	初期値	範囲
①	デバイス名称	「USB 検索」をクリックしたときに接続されているプリンタのデバイス名称を表示します。	空白	—
②	タイムアウト	USB の通信をおこなったときのタイムアウト値を設定します。	5000ms	0~5000ms
③	USB 検索	接続されているプリンタの USB デバイス名称を取得し、「デバイス名称」に表示します。	—	—
④	設定	「デバイス名称」で選択されているデバイスのプリンタを設定し画面を閉じます。	—	—
⑤	キャンセル	デバイスを設定しないで画面を閉じます。	—	—

# フォント・ロゴ作成ツール

## 5.2. LAN インタフェースの設定

LAN インタフェースでフォント・ロゴ作成ツールを使用する場合に設定します。



図 5-2 LAN インタフェース設定

項番	項目	内容	初期値	範囲
①	IP アドレス	直接 IP アドレスを入力するか、「サーバ検索」をクリックし、検索して見つかった IP アドレスを表示します。	192.168.0.1	全オクテット：0~255
②	タイムアウト	LAN の通信をおこなったときのタイムアウト値を設定します。	100ms	0~5000ms
③	接続形態	LAN の通信をステータス 5 かステータス 4 で行うかを選択します。	ステータス 4	ステータス 5 ステータス 4
④	検索時間	「サーバ検索」をおこなうときの検索時間を設定します。	3 秒	0~30 秒
⑤	サーバ検索	ネットワーク上に接続されているプリンタの IP アドレスを取得し「IP アドレス」に表示します。	—	—
⑥	設定	IP アドレス、接続形態を設定し、画面を閉じます。	—	—
⑦	キャンセル	IP アドレス、接続形態を設定しないで画面を閉じます。	—	—

※64bit OS では BF400R、SG400R、ST300R、RT308R の IP アドレスを検索することができません。

# フォント・ロゴ作成ツール

## 5.3. RS-232C インタフェースの設定

RS-232C インタフェースでフォント・ロゴ作成ツールを使用する場合に設定します。

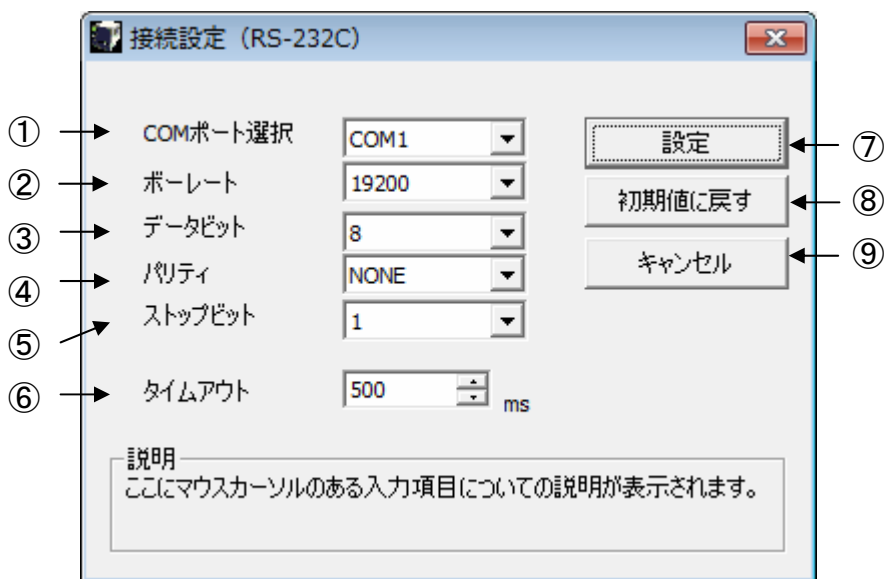


図 5-3 RS-232C 設定

項番	項目	内容	初期値	範囲
①	COM ポート選択	プリンタと通信をおこなうポートを選択します。	COM1	COM1～COM20
②	ボーレート	プリンタと通信をおこなうボーレート値を選択します。	19200	9600～115200
③	データビット	プリンタと通信をおこなうデータビット値を選択します。	8	8、7
④	パリティ	プリンタと通信をおこなうパリティを選択します。	NONE	NONE、ODD、EVEN
⑤	ストップビット	プリンタと通信をおこなうストップビット値を選択します。	1	1、2
⑥	タイムアウト	RS-232C の通信をおこなった際のタイムアウト値を設定します。	500ms	0～5000ms
⑦	設定	RS-232C の接続設定を設定し、画面を閉じます。	—	—
⑧	初期値に戻す	画面上の設定を初期値に戻します。	—	—
⑨	キャンセル	RS-232C の接続設定を設定しないで画面を閉じます。	—	—

# フォント・ロゴ作成ツール

## 5. 4. IEEE1284 インタフェースの設定

IEEE1284 インタフェースでフォント・ロゴ作成ツールを使用する場合に設定します。



図 5-4 IEEE1284 設定

項番	項目	内容	初期値	範囲
①	LPT ポート選択	プリンタと通信をおこなうポートを選択します。	LPT1	LPT1～LPT3
②	タイムアウト	IEEE1284 の通信をおこなったときのタイムアウト値を設定します。	2000ms	2000～5000ms
③	設定	IEEE1284 の接続設定を設定し、画面を閉じます。	—	—
④	初期値に戻す	画面上の設定を初期値に戻します。	—	—
⑤	キャンセル	IEEE1284 の接続設定を設定しないで画面を閉じます。	—	—